

赤ちゃんと一緒に、中学生の特別授業に参加してみませんか ～赤ちゃんとのふれあい体験事業～

対象：0～1歳児の赤ちゃんとお母さん

赤ちゃんとのふれあい体験とは

赤ちゃんとお母さんが市内の中学校を訪れ、生徒と交流する特別な授業です。生徒たちにとって命に向き合い、心の中に優しい宝物を持って大人になっていく大切な時間となっています。

今年度の2学期は10校で実施します。



授業の流れ

1 講話

2 事前学習

3 ふれあい体験

(1時間程度)

4 振り返り

※1,2,4は生徒のみ

生徒たちが、命の誕生や家族の大切さについての講話を聞いたり、赤ちゃんの抱っこ方法を学んだりします。

赤ちゃんとお父さん・
お母さんが参加

親子1組に生徒2～4人程度のグループで過ごします。生徒たちは次のようなことを教えてもらいます。

- ・こどもの名前に込めた思い
 - ・妊娠が分かった時の気持ち、大変だったこと
 - ・こどもが生まれた時の気持ち
- 生徒たちは、お父さん・お母さんと話しながら、赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたりします。

参加したお父さん・お母さんの声

中学生から元気をもらいました。我が子の成長を話していると、あらためてこの子を産んで良かったと思いました。私にとって、「赤ちゃんとのふれあい体験」はとてもいい機会になっており、リピート参加しています！中学生には、自分もこのように親から大切に思われていたんだと感じてほしいです。

ふれあい体験に参加してくれる親子を募集しています。

申し込み・詳細はホームページへ。

[HP▶](#) 浜松市赤ちゃんとのふれあい体験事業 [検索](#)



●子育て応援コラムでは、こども基本法の基本理念を踏まえて、ひらがな表記の「こども」を使用しています

【広告】※広告内容に関する一切の責任は、広告主に帰属します。浜松市が推奨するものではありません